

I H I 建機

コンクリートポンプ車

適用範囲		モデル名		IPG100B-8E26/4	IPG100T-16E	S34X		
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	
			最大吐出量	m ³ /h	100/65	100/55	138	
			最大吐出圧力	MPa	8.1/5.2	15.9/8.6	8.5	
			アーム最大地上高	m	26	—	34	
適用号機		DR20001～		DK10001～	DJ0001～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	30/19.5±1	31/17±1	27±1		
		ローター回転数	回/min	—	—	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(±)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±0)	(±)	
	真空ポンプ	回転速度	min ⁻¹	31±2	35±2	±	±	
		チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(±)	(±)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(±)	(±)	
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	(—)
			圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	(—)
			Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
			ブーム (1) シリンダー	mm	1	—	1	—
			ブーム (2) シリンダー	mm	1	—	1	—
☆ブームシリンダー 作動時間		ブーム (3) シリンダー	mm	1	—	1	—	
		ブーム (4) シリンダー	mm	1	—	1	—	
		ブーム (5) シリンダー	mm	—	—	—	—	
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図No. 1]	(—) (—) [図No.]	(10) (—) [図No. 1]	(—) (—) [図No.]	
		ブーム (1) 伸び縮み	sec sec	40±10 60±10	— —	70±10 70±10	± ±	
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
		油圧 水圧 飛距離	MPa m	3.9 —	9.8 —	— —	— —	
		空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(—)	(±)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(±)	
(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(—)	(±)			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

[illegible]

I H I 建機

適用範囲		モデル名		IPG100B-8E26/4	IPG100T-16E	S34X		
		主仕様	吸吐弁型式	ー	揺動弁	揺動弁	揺動弁	
			最大吐出量	m ³ /h	100/65	100/55	138	
			最大吐出圧力	MPa	8.1/5.2	15.9/8.6	8.5	
			7"φ最大地上高	m	26	ー	34	
適用号機		DR20001～		DK10001～	DJ0001～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	31/20	31/17	37		
		弁シリンダー油圧	MPa	15/12	15/12	20		
		攪拌モーター油圧	MPa	15	15	20		
		ブーム油圧	MPa	31	ー	ー		
		ACC ガス封入圧力	MPa	6.0	6.0	12		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	()	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(ー)	(ー)	(ー)	()	
(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(±)			
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルトの 締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	206+5	ー	750+5		
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	412+5	ー	750+5		
		旋回ボルトの交換基準	年	注1	ー	注1		
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	120±10	ー	±	±	
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(ー)	(540)	()	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(ー)	(1800)	()	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(ー)	(ー)	(ー)	()	
	(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(ー)	(50±5)	()		
	☆ シリンダー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	1	1	1		
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	()	
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No.]	
特記事項				吐出圧力高低圧切替機能付き 主油圧リリーフ、弁圧2段切替				
				吐出圧力高低圧切替機能付き 主油圧リリーフ、弁圧2段切替				
注1 ①3年毎に内輪、外輪ともに全数交換 ②1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

検 査 基 準 値							

注1
①3年毎に内輪、外輪ともに全数交換
②1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換

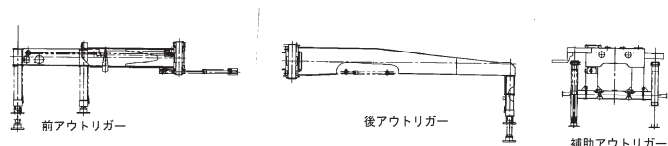
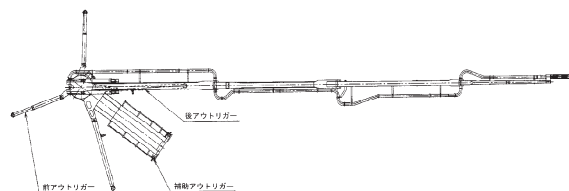
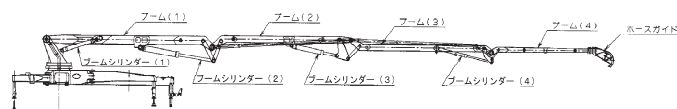
注1

①3年毎に内輪、外輪ともに全数交換

②1本でも弛み、脱落、折損があった場合は内輪、外輪ともに全数交換

I H I 建機

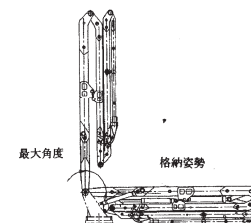
項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	アウトリガーを最大に張り出し、ブームを真っ直ぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダーにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は根元ホースのみとする。	図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢 (下図参照)
アウトリガー シリンダー 自然降下	ブームを水平に伸ばし、アウトリガー真上位置に置く。アウトリガーにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-2 アウトリガーシリンダー自然降下計測姿勢 (下図参照)



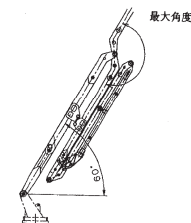
コンクリートポンプ車

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム作動速度	アウトリガーを最大に張り出し、各ブームシリンダーの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。計測姿勢は右記の通り。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)
旋回作動速度	アウトリガーを最大に張り出し、右記のブーム姿勢にて360°旋回の作動時間をストップウォッチで計測する。	図-4 旋回作動速度計測姿勢 (下図参照)

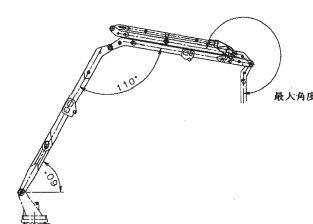
ブーム (1) 計測姿勢



ブーム (2) 計測姿勢



ブーム (3) 計測姿勢



ブーム (4) 計測姿勢

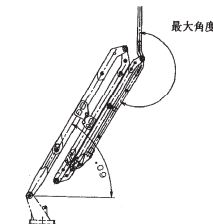


図-4 旋回作動速度計測姿勢

